

## 商品名 クエン酸ガリウム-Ga67注射液 添付文書情報

一般名	クエン酸ガリウム（67Ga）注射液	薬価	3021.00
規格	10MBq	区分	
製造メーカー	PDRファーマ	販売メーカー	PDRファーマ
薬効	4. 組織細胞機能用医薬品 43. 放射性医薬品 430. 放射性医薬品 4300. 放射性医薬品		

### クエン酸ガリウム-Ga67注射液の用法・用量

〈腫瘍シンチグラフィ〉

本品を、体重1kgあたり1.11～1.48MBq静注し、24～72時間後に被検部をシンチレーションカメラまたはシンチレーションスキャナで撮像または走査することによりシンチグラムをとる。なお、投与量は、年齢、体重により適宜増減する。

〈炎症シンチグラフィ〉

本品を、体重1kgあたり1.11～1.85MBq静注し、48～72時間後に被検部をシンチレーションカメラまたはシンチレーションスキャナで撮像または走査することによりシンチグラムをとる。必要に応じて投与後6時間像をとることもできる。なお、投与量は、年齢、体重により適宜増減する。

### クエン酸ガリウム-Ga67注射液の効能・効果

- [1] 悪性腫瘍の診断。
- [2] 次記炎症性疾患における炎症性病変の診断：腹部膿瘍、肺炎、塵肺、サルコイドーシス、結核、骨髄炎、び慢性汎細気管支炎、肺線維症、胆嚢炎、関節炎など。

### クエン酸ガリウム-Ga67注射液の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。

2. その他の副作用：

- [1] 過敏症：（頻度不明）蕁麻疹様紅斑、そう痒感、発疹、発赤、全身紅斑、湿疹。
- [2] 循環器：（頻度不明）徐脈、血圧低下。
- [3] 消化器：（頻度不明）腹部膨満感、悪心、嘔吐、口内疼痛、舌痛。
- [4] その他：（頻度不明）発熱、全身倦怠、冷汗、上腕部痛、めまい、気分不良、顔面潮紅。

## クエン酸ガリウム-Ga67注射液の使用上の注意

### 【重要な基本的注意】

診断上の有益性が被曝による不利益を上回ると判断される場合にのみ投与することとし、投与量は最小限度にとどめること。

### 【妊婦】

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、診断上の有益性が被曝による不利益を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

### 【授乳婦】

診断上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討する（クエン酸ガリウム（67Ga）は授乳している乳房に集積するため、授乳する場合は投与後2～3週間程度の期間をとった方が望ましい）。

### 【小児等】

- 1) 小児等を対象とした臨床試験は実施していない。
- 2) 低出生体重児、新生児に使用するには十分注意すること。外国において、ベンジルアルコールの静脈内大量投与（99～234mg/kg）により、中毒症状（あえぎ呼吸、アシドーシス、痙攣等）が低出生体重児に発現したとの報告がある（本剤は添加剤としてベンジルアルコールを含有している）。

### 【高齢者】

患者の状態を十分に観察しながら慎重に投与すること（一般に生理機能が低下している）。

### 【適用上の注意】

#### 1. 薬剤投与時の注意：

- 1) メシル酸デフェロキサミン投与中に本剤を投与する場合、メシル酸デフェロキサミンの投与はあらかじめ中止しておくこと（本剤とメシル酸デフェロキサミンがキレートを形成し、急速に尿中に排泄されるため、シンチグラムが得られない場合がある）。
- 2) 67Gaは腸管内へ排泄されるため腹部の病巣への集積と鑑別が困難となる場合があるため、腹部診断には前処置として撮像前に十分な浣腸を施行する（また、浣腸禁忌の場合には経口的に撮像し、集積の移動の有無から診断する）。
- 3) 両頭針を取りつける際、プランジャーロッドを押さないようにすること。
- 4) シリンジ中にごくわずかに気泡が含まれている場合があり、注射液を投与してもこの気泡は通常シリンジ内に残るが、誤って投与することのないよう気泡の位置に注意しながら投与すること。

### 【その他の注意】

1. 臨床使用に基づく情報：〈炎症シンチグラフィ〉炎症巣の局在部位・活動性等、他の検査では十分な情報が得られない場合に施行すること。

### 【取扱い上の注意】

放射線を安全に遮蔽できる貯蔵設備（貯蔵箱）に保存すること。

【保管上の注意】

室温保存。



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.